

4K/HD キャラクタージェネレーター

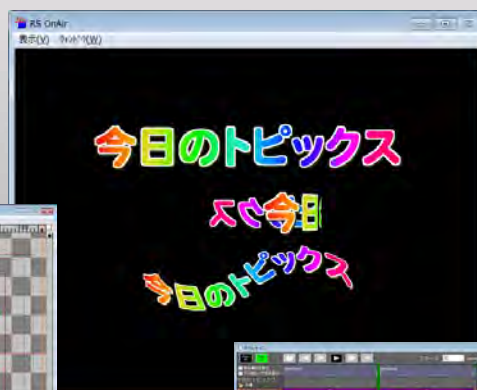
EzV-400/EzV-410

NDI.

FOR.A[®]

4K/HD Character Generator

EzV-400/EzV-410



進化を続ける キャラクタージェネレーター

EzV-200HS 発売以来、ユーザーの皆様から寄せられる多くの要望に真摯に向き合い続け、多様化する運用スタイルに合わせ進化。用途や設置場所にあわせて選択可能な2モデルをラインアップ。NDI® 送出にも対応し、活用をさらに拡大。

ラインアップ



EzV-400

単体で作画から 4K 送出まで、通常の HD テロップとまったく同じ操作性で運用可能な、スタンドアロン型のワークステーションモデル



EzV-410

振動に強く、コンパクトで可搬性に優れた 1RU モデル

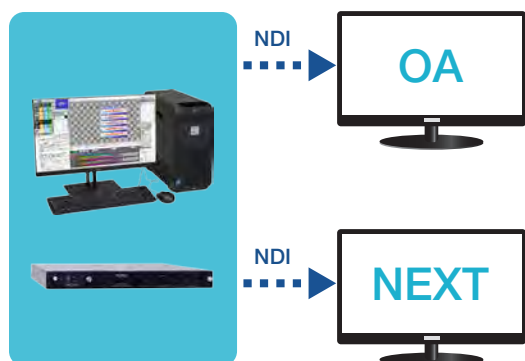
主な特長

- HD-SDI(1080/59.94i) 2 系統送出、4K(2160/59.94p/12G-SDI) 1 系統送出に対応し、切り替えも可能
HD 1 系統モード時 PGM V/K、PREV V/K 出力に対応、PGM V/K は分配出力も可能
HD 2 系統モード時 PGM V/K、PREV V 出力に対応
4K モード時 PGM V/K、PREV V 出力に対応 (1 系統)
- NDI 送出に対応
- フルサイズの静止画キャプチャーが可能
HD モード時 V/K(1 系統)
4K モード時 V(1 系統)
- EzV-300 シリーズと変わらない操作感
- 放送許諾された下記 5 つのフォントを標準で搭載
HG 平成角ゴシック体 W5/HG 平成角ゴシック体 W7/HG 平成丸ゴシック体 W4/HG 平成丸ゴシック体 W8/HG 明朝 B

多彩な利用シーン

ケーブルTV局、プロダクション、ポストプロダクションなど様々な現場で活用可能。

オプションにより、NDI送出が可能



1系統のOAとNEXTのNDI High Bandwidth入出力が可能。それにより接続可能な機器が増えることで、活用の場も拡大可能。また、専用ハードウェアが不要なため安価に送出環境を構築可能。

異なる2系統のHD送出シーン



マウス操作だけでなく、系統ごとの専用リモコン*制御が可能。

*オプション

2系統目を利用した 作画中のテロップ入力確認シーン



系統2で入力プレビューを行いながら、オンエア管理のテロップ送出に対応可能。

用途や設置場所によって選択可能な2モデル



騒音や発熱の少ないワークステーションモデルで、デスクワーク環境での使用に適しているEzV-400と、コンパクトで可搬性が高く、簡易スタジオや簡易配信システム、イベント等での使用に適しているEzV-410。

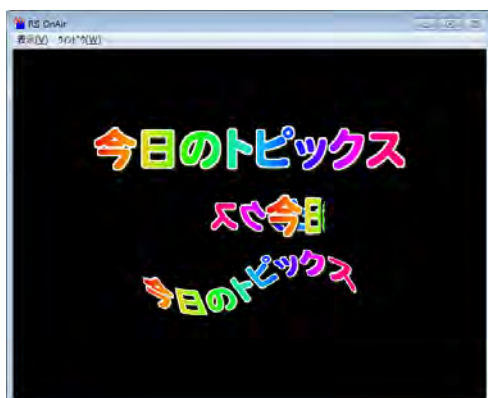
テロップ入力

- 統合ソフトウェアTelopStationを標準搭載し、データをサーバーで管理可能
- 1920 x 1080ピクセル以上の画面解像度も対応
- 上位機種VWSシリーズとのデータ完全互換を実現

テロップ入力ソフト機能例

3D 効果

テロップの切り替え効果や、テロップ内効果として3D 機能を設定することが可能。



タイムライン

各オブジェクトの動作範囲、動作開始終了位置や効果時間を、タイムラインで設定することが可能。



色スポイト

画像やオブジェクトの任意の位置の色情報を取得する、スポイト機能を搭載。



移動パス

オブジェクトの位置をA地点からB地点へと移動させるパスを設定することが可能。



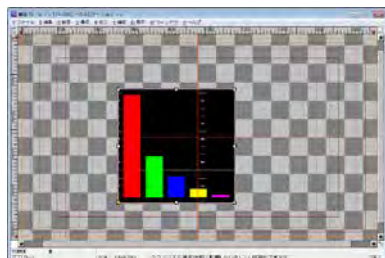
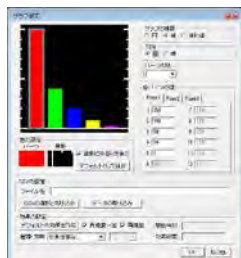
オブジェクトグループ化

複数のオブジェクトを1つのグループとして、移動・リサイズが可能。



グラフ作成

円グラフや棒グラフなど、様々なグラフをパラメーターの入力から自動生成が可能。



その他

テンプレート入力、拡張効果、手のひらツール、キャビネットのパレット数拡大などの各種機能を搭載。

テロップ送出

- 標準構成でHD 2系統、または4K 1系統（PGM：V/K、PREV：V）のテロップ送出が可能。
- HDモードでは、2系統のテロップを送出用に同時利用、あるいは送出に1系統だけを使用して残りの1系統をテロップ入力確認用に利用することも可能。
- 入力しながらの送出操作も可能。2系統目をプレビューラインとして活用し、1系統目でテロップを送出している時に、2系統目は独立してSDIモニターでの確認が可能。

送出制御

- REST Server対応：REST Serverを組み込み、外部からネットワーク経由での送出制御(CHANGE/TOP/SKIP/BACK/STOP/CLEAR等)が可能。また、テンプレートのテロップに対してタグ流し込みを行う形でのテロップ生成も可能。
- 多系統送出*：1系統で複数レイヤーの送出制御が可能。各レイヤー毎に番組を開いて制御し、最大8レイヤー制御が可能。

*オプション

主な機能

テロップ作成端末*・送出制御端末の増設*

EzV-400またはEzV-410本体に加え、2台までのノートPCを使って、テロップ作成や2系統の番組送出制御を同時に操作可能。テロップ素材のインポートや送出順の並び替えなども可能。

*オプション



様々な用途に対応可能なプラットフォーム

通常のテロップ送出のほかに、選挙、スポーツ、気象情報の送出（L字送出、Twitter連携送出）など、様々な用途でご利用頂けるアプリケーション*を用意。

*オプション、詳細はお問い合わせください。



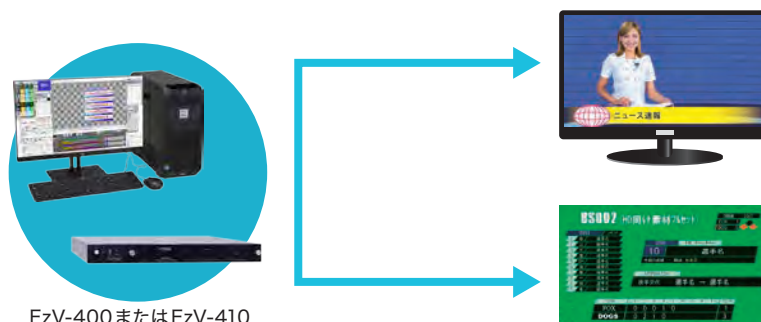
オプション

通常の送出とスポーツコーダー^{*1}の併用

通常のテロップ送出を行いながら、別系統でスポーツコーダーの送出も可能。出力を2系統装備する本機をスポーツコーダー専用機として使用中でも、使用していない出力系統を使うことで、突発的な番組告知のテロップを送出可能。

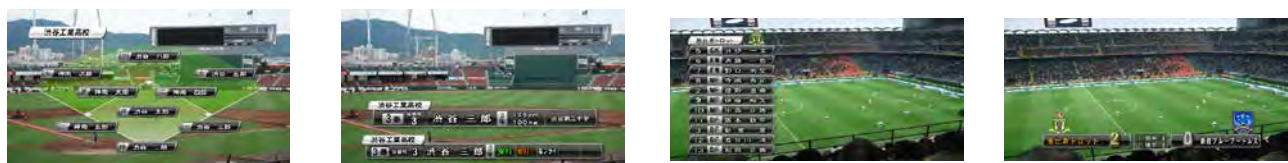
また、スポーツコーダーを2系統送出するなど、同一アプリケーションの2系統送出も可能。本機のGUI以外にも、スポーツキーボード^{*2}やテロップ送出用リモコン^{*3}を使い、2系統の出力を複数オペレーターで同時に制御可能。スポーツコーダー用には、アマ野球/サッカー/バレー/バスケット/ラグビー/マラソン/対戦型(汎用)の競技用パッケージを用意。

^{*1} オプション ^{*2} USB接続、オプション ^{*3} 2式まで利用可能(1系統ごとに接続)、オプション



EzV-400またはEzV-410

スポーツコーダー競技用パッケージサンプル



各種 NLE との連携*

ノンリニア編集ソフトウェアEDIUS Pro/Adobe® Premiere® Pro/Media Composer®と連携してテロップ作成を強化。文字のエッジ処理や1文字単位でのサイズ変更、装飾処理などのテロップ作成に特化した機能で、高品質なテロップを簡単に素早く作成可能。番組単位で作成したテロップを各NLEにエクスポートすることで、番組編集効率の飛躍的な向上に貢献。

*オプション

EDIUSは、グラスバレー株式会社の登録商標です。

Adobe® Premiere® Proは米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Media Composer®はAvid Technology、またはその子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

画面のリサイズ・機能表示のレイアウト変更が自由自在

操作画面のレイアウト変更が可能。画面のリサイズに加え、2系統を左右分割した縦型2系統送出モード、全面カルタ取りモードなど、画面レイアウトの配置、ボタンの位置/大きさ/種類などを細かく設定することも可能。プールフォルダに表示されるテロップの大きさも変更可能で、縦型ディスプレイやタッチパネルにも対応可能。画面レイアウトの自由度が高いため、既存機材への導入が容易。



その他の機能

キーボードショートカット設定

キーボードに各種機能を割り当て可能。

バックアップ機能*

テロップ素材の自動バックアップに対応。任意のDBを指定し、バックアップからデータの復旧が可能。

*オプション

オプション

ソフトウェアオプション

■ プラグインソフト/入力ソフト

- EzV-3 Plugin (Avid MC 8.5) :

Avid Media Composer プラグインソフト

- EzV-3 Plugin (Adobe PPro 2015) :

Adobe Premiere Pro 2015 プラグインソフト

- EzV-3 Plugin (EDIUS 8) :

EDIUS 8 プラグインソフト

- EzV-3 Plugin (EDIUS 9) :

EDIUS 9 プラグインソフト

- 入力ソフト

各ノンリニア編集ソフトウェアと連携し、テロップ作成や番組編集を強力サポート。入力ソフトを追加することで、読み込んだテロップの再編集が可能。

■ EzV-3-SS : 静止画装置ソフト

OA送出を保持したまま、映像キャプチャー、汎用 イメージファイルの取り込みと即時送出が可能。

■ EzV-4-FVS : 静止画動画装置ソフト

EzV-3-SSの機能に加え、テロップの背景動画(HD)の送出が可能。また、ベースバンドのVまたはKの個別キャプチャーが可能。

■ EzV-30SOIN : テロップ入力ソフト

PCにインストールし、EzV-410とネットワーク接続することで、PCからのテロップ編集が可能。データはローカルで管理可能。

■ EzV-4-REP (EzVBackupTool) :

バックアップ/同期ツール

テロップ素材の自動バックアップ、およびバックアップからのデータ復旧が可能。

■ EzV-3-TRS : タブレットリモコンソフト

PCにインストールし、EzV-410とネットワーク接続することで、PCからのテロップの送出制御が可能。

■ FontManEditor : フォント登録ソフト

PCにインストールされているフォントをEzV-410への登録、およびリスト管理が可能。

■ EzV-4-WT : EzVシリーズ用音声登録ソフト

テロップそれぞれに音声を付与しての送出が可能。先頭のテロップのみに音声を付与した場合は、テロップ送出が一周または音声の再生時間が終わるまで、途切れずに先頭の音声が続く。

■ EzV-4-PPT* :

EzVシリーズ用パワーポイントファイル取り込みソフト

パワーポイントファイルをテロップデータに変換するソフトウェア。

* EzV-4-PPTを使用するには、EzV-400/410本体にOfficeのインストールが必要です。または、EzV以外のOffice導入端末にEzV-4-PPTをインストールして使用することも可能です。

■ EzV-4-MS : EzVシリーズ用多系統送出ソフト

■ EzV-4-NDI : EzV シリーズ用 NDI 送出ソフト

■ Image Viewer : Image Viewer ソフト

イメージファイルのサムネイル表示が可能。

■ Lump Manager : アニメーション作成ソフト

任意のサイズのアニメーションの作成、再生、保存が可能。

ハードウェアオプション

■ CONTEC DIO-1616B-PE (EzV-400用) :

GPI 制御用パラレルボード

EzV-RUAをEzV-400に接続するために必要な、GPIインターフェースユニット。

■ CONTEC DIO-1616BX-USB (EzV-410用) :

GPI 制御用USB I/O ユニット

EzV-RUAをEzV-410に接続するために必要な、USB接続のGPIインターフェースユニット。

■ EzV-RUA : リモートコントロールユニット

テロップ送出のリモート制御が可能で、最大2式接続可能。接続にはCONTEC DIO-1616B-PEまたはCONTEC DIO-1616BX-USBが必要。

■ VWS-OUS : スポーツキーボード

放送用スポーツテロップをワンタッチで送出するスポーツキーボード。

詳細な仕様は仕様書、またはマニュアルをご覧ください。

記載の商品名および社名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。外観および仕様は予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。カタログと実際の製品の色は印刷の関係で多少異なる場合があります。このカタログの記載内容は2024年11月現在のものです。



株式会社 朋栄 www.for-a.co.jp

ISO9001取得
ISO14001取得
(佐倉R&D)

■ 本 社	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿3-8-1	Phone 03-3446-3121 (代)
■ 関 西 支 店	〒530-0055	大阪府大阪市北区野崎町9-8 永楽ニッセイビル8F	Phone 06-6366-8288 (代)
■ 札 幌 営 業 所	〒004-0015	北海道札幌市厚別区下野幌テクノパーク2-1-16	Phone 011-898-2011 (代)
■ 東 北 営 業 所	〒980-0021	宮城県仙台市青葉区中央2-10-30 仙台明芳ビル3F	Phone 022-268-6181 (代)
■ 東 海 営 業 所	〒460-0003	愛知県名古屋市中区錦1-20-25 広小路YMDビル6F	Phone 052-232-2691 (代)
■ 中 国 営 業 所	〒730-0012	広島県広島市中区上八丁堀5-2 WAKO KMビル4F	Phone 082-224-0591 (代)
■ 松 山 営 業 所	〒790-0002	愛媛県松山市二番町3-3-8 二番町ヒルズ5F	Phone 089-968-2058 (代)
■ 九 州 営 業 所	〒810-0004	福岡県福岡市中央区渡辺通2-4-8 福岡小学館ビル6F	Phone 092-731-0591 (代)
■ 沖 縄 営 業 所	〒901-0145	沖縄県那覇市高良3-8-23 眞浩商事ビル302	Phone 098-851-9981 (代)
■ 佐倉R&Dセンター	〒285-8580	千葉県佐倉市大作2-3-3	Phone 043-498-1230 (代)
■ 札幌R&Dセンター	〒004-0015	北海道札幌市厚別区下野幌テクノパーク2-1-16	Phone 011-898-2018 (代)
■ 大阪R&Dセンター	〒530-0055	大阪府大阪市北区野崎町9-8 永楽ニッセイビル3F	Phone 06-6366-0022 (代)
■ 福岡R&Dセンター	〒812-0018	福岡県福岡市博多区住吉3-1-80 オヌキ新博多ビル3F	Phone 092-402-2705 (代)
■ 朋栄エム・エフ・ジーセンター	〒285-0074	千葉県佐倉市西御門473-1(ちばリサーチパーク内)	Phone 043-498-6066 (代)

■ FOR-A Corporation of America Corporate Office ■ FOR-A Corporation of America Northeast Office ■ FOR-A Corporation of America Southeast Office
■ FOR-A Latin America and the Caribbean Miami Office ■ FOR-A Latin America and the Caribbean Sao Paulo Office
■ FOR-A Latin America and the Caribbean Mexico City Office ■ FOR-A Europe S.r.l. ■ FOR-A UK Limited ■ FOR-A Italia S.r.l. ■ FOR-A Corporation of Korea
■ FOR-A China Limited ■ FOR-A Middle East-Africa Office ■ FOR-A India Private Limited Corporate Office ■ FOR-A India Private Limited Mumbai Office
■ FOR-A South East Asia Hong Kong Office ■ FOR-A South East Asia Singapore Office



安全に関するご注意

ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。水、湿気、湯気、ほこり、油などの多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。

機器・システムの保守・メンテナンスのご連絡は下記までご連絡ください

朋栄サービスセンター／03-3446-8575

24時間365日電話受付